

がれきの街 懸命の救出

トルコ地震 被災者「急いで」

【イスマイト(トルコ西部) 18日相原清】「すさまじい惨劇だ」と絶句する海外からの救助隊員に、一刻も早い肉親の救出を求めて住民が詰め寄る。父が、母が、子孫が、がれきの下に……。死者三千人以上を出した十七日のトルコ大地震。悪夢から三日も経たぬ間に被災地は、思うように進まない救援活動に被災者から怒りとあせりの声が高まり、時勢はますます悪化している。

被害の中心となったイスマイト市、青いはずの噴れた空が、近頃の石油精製施設からもくもくとわき上がらぬ黒煙のため、とす黒い。押しつぶされた住宅群を救急車がサイレンをけたまましく通らぬが通り過ぎる。スイスやオーストリアなど海外から急派された救助隊員は、十八日早朝から本格的な救助活動を開始した。同日午後一時にイスマイト入りしたオーストリア赤十字チームは、六匹の救助犬を使い、懸命の捜索活動を行っている。

「あっちのアパートにも人が埋まっているんだ。急

隊員は一生存者を見つけても、がれきを取り除く重機が圧倒的に不足している。犬の疲労も激しく、状況は「厳しい」と険しい顔つきで語るのが精いっぱいだ。

別の現場では、鉄筋コンクリート住宅の残骸の中のままのケース、ユルグルトだけ、これ、あと何日も持ちこたえられるか」と主婦グル・アスジャンさん(60)は一歳半になる孫を抱き寄せ、不安に顔をゆがめ、泣きながら「水道の区は全域で、電気や水道、電話は不通のまま。発電機を備えているため、商

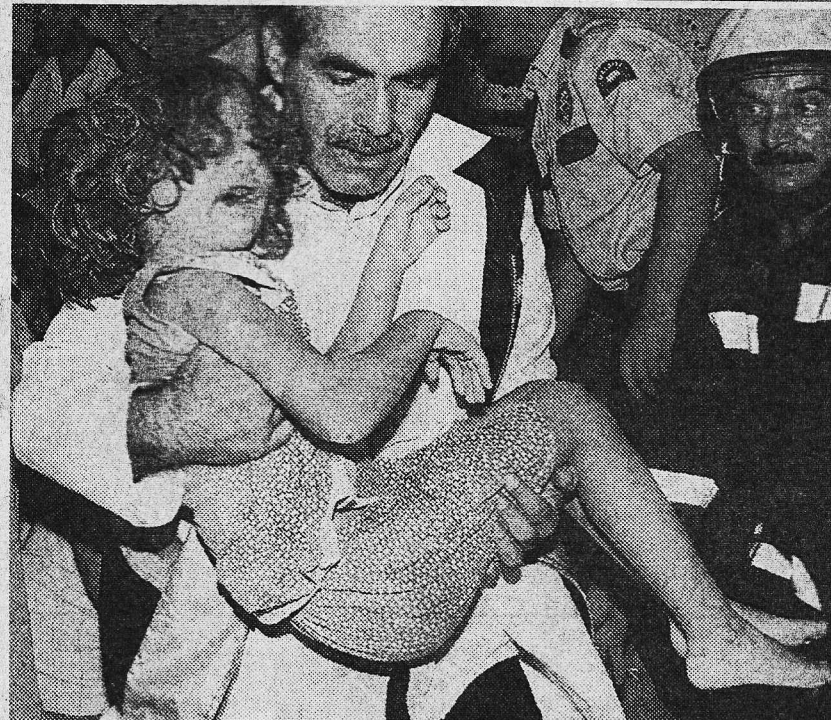
作する人が見つからなかった。のり上りしたままだ。

石油精製施設周辺の住民は、家屋への地震被害を免れても、施設の爆発の恐れがあるため避難を命じられ、前日から粗末なアントの下で過ごしている。当局や援助団体などからの食料や医薬品など救援物資も届いていない。「持ち出せた食料は冷蔵庫にあったヨーグルトだけ、これで、あと何日も持ちこたえられるか」と主婦グル・アスジャンさん(60)は一歳半になる孫を抱き寄せ、不安に顔をゆがめ、泣きながら「水道の区は全域で、電気や水道、電話は不通のまま。発電機を備えているため、商

岡山 28

AMD Aが 医師派遣へ

募金活動も始まる
トルコ地震の被災者を救済するため、阪神大震災のNGO(民間活動団体)な



17日、イスタンブールで、倒壊した家屋から救出された少女 (AP)

いう極限状態の中で、被災者の精神的な限界も近付いている。

この団体の十八日、「トルコ西部地震・緊急救援委員会」を設けて募金を始めた。うち「コープこうべ」は全百七十八店に募金箱も置き、買い物客らに呼び掛けている。

座番号は00970・7・399728。通信欄に「トルコ地震支援」または「NGO災害救援金」と記し、「阪神大震災地元NGO救援連絡会議」まで、問い合わせは同委員会事務局の「被災地NGO協働センター」(078・6855・0088)へ。

一方、AMD A(アジア医師連絡協議会、本部・岡山

を出発し、同日夜に現地入り。アルバニア支部のアルバニア医師二人と合流して医療活動に従事する。

兵庫県と神戸市はトルコ政府に見舞金としてそれぞれ百万円を贈る。笹山幸俊・同市長は「早期回復を祈る」との見舞いと激励のメッセージを送った。

義援金の口座開設

トルコ地震の被災者を救済するため、在日トルコ大使館は十八日、日本からの義援金を受け付ける口座を開設。さくら銀行東京営業部の普通口座で、口座番号は90330004。トルコ地震災害義援金口座まだ、日本赤十字も郵便振替で義援金を募っている。加入者名に「日本赤十字社」、振替用紙の通信欄に「トルコ地震」と記入し、口座番号00110・2・5606へ。

山市)は同日、被災地に日本とアルバニア支部から緊急医療チームを派遣することを決めた。日本の医師ら二人は二十日、関空空港